

※総理指示を受け、今年度は以下について実施

「システム改革等イノベーション実現に必要な施策のあり方について、年末までに対応方針を取りまとめる」

- 第4回以降の構成員からのプレゼン・ご意見や、科学技術重要施策アクションプランの取り纏めを踏まえ、次の論点でいかがか。

グリーンイノベーションの実現

論点

『グリーンイノベーション実現に向けた国費投入のあり方はどうあるべきか』

産業化

- ①事業化に至る確率を向上させるために必要な実効的「仕組み」は何か

構成員からのご意見

- ・起業家等の高いモチベーションを持続できる仕組みが必要ではないか。
- ・日本は基礎研究予算への予算は厚いが事業化予算が薄いのではないか。
- ・ファンディングの1~2割程度をVB等の行動者に配賦する仕組みが必要ではないか。

事業化

開発

- ②出口志向の研究開発を成立させるために必要な実効的「仕組み」は何か

構成員からのご意見

- ・研究開発の公的ファンディング制度ごとの位置づけと目的について再整理、周知が必要ではないか。
- ・ロードマップを作成し、費用対効果の検討が必要ではないか。
- ・出口(事業化・産業化)に向けた異分野融合・垂直連携をアンブレラプロジェクトのような形で強化すべきではないか。

基礎研究